

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	道明 伸幸		
授 業 科 目	服飾繊維学		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授業の主題 目 標	<p>アパレル企画、製造の現場をはじめ、消費者と接する販売、消費者相談の現場など、アパレルに関わるあらゆる立場において、繊維素材である高分子材料の特性に関する深い理解が要求される。この科目では繊維および高分子材料について学ぶとともに、それを通して自然科学的な考え方を身につけ、服飾材料を扱うときさまざまな問題に出会い、また新しい素材に接したとき、自分自身でそれらを解明し、理解するための基礎的能力を養成することを目的とする。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 繊維とその仲間（高分子とその用途） 2. 物質の成り立ち（原子・分子、物質の状態、化学結合） 3. 糸の分子は糸のよう（分子構造と性質） 4. 糸のような分子を作る（高分子の合成） 5. ゴムとプラスチックと繊維（高分子材料、結晶と非晶） 6. 繊維の中にも結晶がある（結晶性高分子） 7. 硬いプラスチックもいつかは流れる（高分子の物性、粘弾性） 8. ゴムは不思議な物質（ゴム弾性） 9. 環境と高分子（リサイクル、生分解性繊維） 10. 天然繊維の種類と特性その1（植物繊維） 11. 天然繊維の種類と特性その2（動物繊維） 12. 化学繊維の種類・特性と製造その1（再生繊維、半合成繊維） 13. 化学繊維の種類・特性と製造その2（合成繊維） 14. 新しい繊維（新素材、ハイテク繊維） 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	島崎恒蔵 編著『衣服材料の科学[第3版]』, プリント				
準備学習の 具体的内容	事前にテキスト等の該当箇所をよく読んでおくこと。				
評価の方法 基 準	試験 (80%) 受講態度 (20%)				
履 修 上 の 注 意	なし				